

# 平成30年度 第2回長岡市図書館協議会 資料

平成30年11月26日  
議員協議会資料



## 議題：大手通地区における今後のまちづくりについて

### 大手通坂之上町地区市街地再開発事業について

長岡市  
中心市街地整備室

# 1 中心市街地の政策展開と新たな導入機能について

**福祉の拠点**

「福祉の中枢拠点」  
ながおか町口御門

- 長岡市社会福祉センター「トモシア」  
高齢者や障害者の生活を支える福祉サービスの拠点

**健康づくりの拠点**

タニタカフェ  
(多世代健康交流拠点)

- 全国初！タニタプロデュースによる『多世代健康まちづくり』の拠点
- 市民の健康づくりの出発点

**市民との協働による  
まちづくりの実証実験の場**

ながおか市民センター

- 国際交流センター、  
ハローワークプラザ、  
男女平等推進センターなど

**まちなかへのアクセス  
・利便性の向上**

JR長岡駅大手口駅前広場整備事業

- 東西自由通路の延伸
- ペデストrianデッキの整備
- 地下自転車駐車場の整備

**市民活動、市民協働の拠点**

シティホールプラザ  
「アオーレ長岡」

- 市役所、アリーナ、屋根付き広場からなる市民協働と交流の拠点

**学びと交流の拠点**

まちなかキャンパス長岡

- 市内3大学1高専と市が連携し企画運営する「生涯学習」と「交流」の拠点

**子育て支援の拠点**

子育ての駅 ちびっこ広場

- お母さん(現場)の声から生まれた、冬でも使える全天候型の広場機能を備えた子育て支援施設

**米百俵プレイス(仮称)**

~100年先の長岡のために 長岡開府400年記念事業~

「人づくり」と「産業振興」を総がかりで支える地方創生の拠点

## 2 事業計画の概要について①

### 計画概要

#### ○事業の名称

長岡都市計画大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業

#### ○施行者の名称

独立行政法人都市再生機構

#### ○施行地区的区域

長岡市大手通二丁目、表町二丁目、坂之上町二丁目及び東坂之上町二丁目の各一部(都市計画決定:平成30年7月17日長岡市告示第373号)

#### ○施行地区的面積

約1.7ha

#### ○設計の方針

本事業は、長岡市の総合計画、都市計画マスターplan及び長岡市中心市街地活性化基本計画(第2期計画)に基づき、まちなか型公共サービスのさらなる展開を図り、人づくりと産業振興を総がかりで支える地方創生の拠点を整備する。

- ① A-1街区に賑わいの創出及びまちなか居住の促進を図るための商業施設及び集合住宅を整備する。
- ② A-2街区及びB街区に、人づくり・学び・交流機能を担う公共公益施設及び事務所機能を整備する。
- ③ C街区に、まちなか来街者の利便性向上を図る商業施設等を備えた複合型立体駐車場を整備する。
- ④ 国道351号及び市道401号線に面して賑わい空間を形成し、中心市街地の回遊性の向上を図る。

### 施行区域



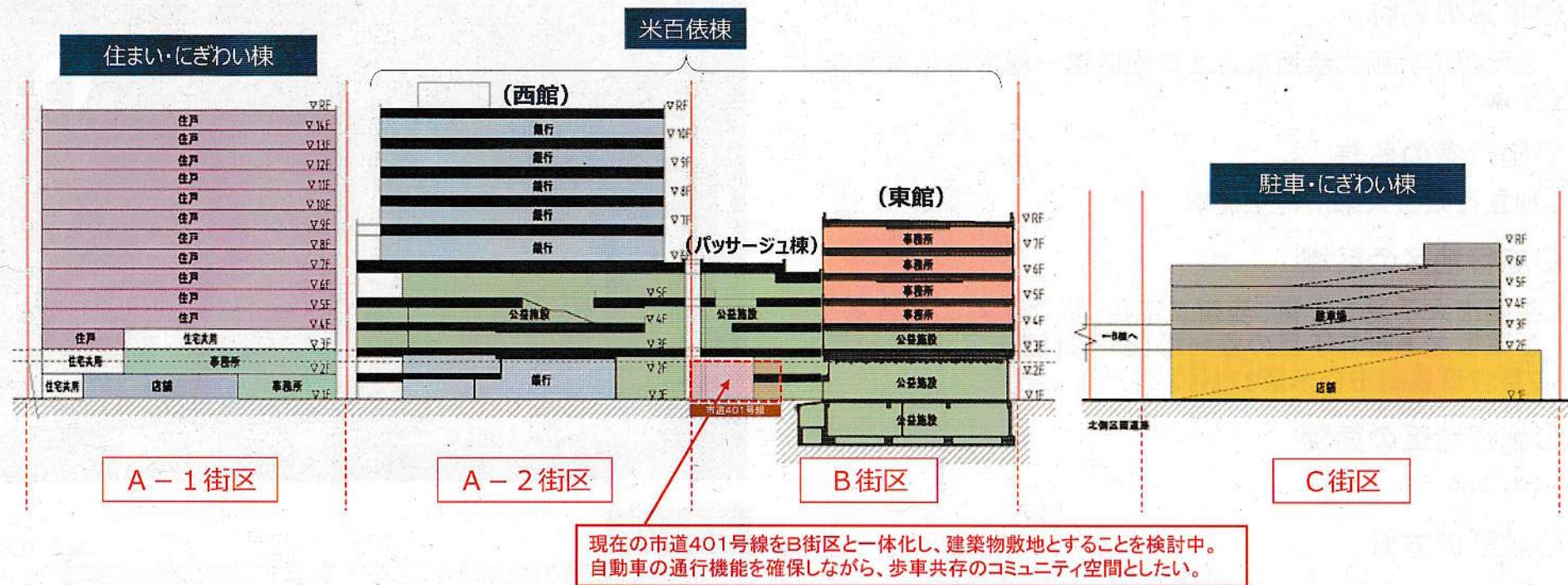
### 資金計画

(単位:百万円)

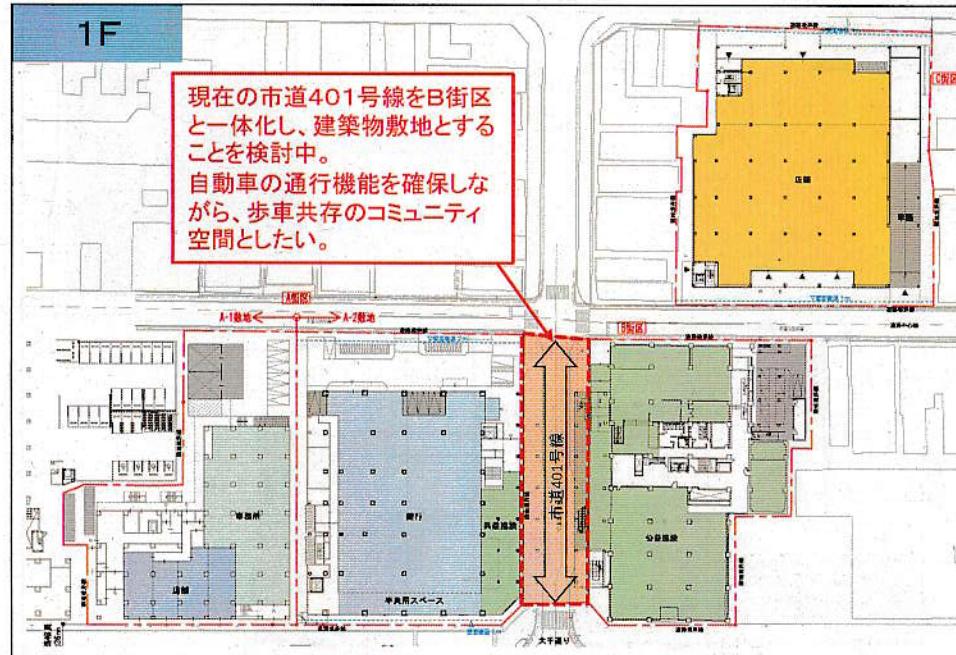
支 出		収 入	
調査設計計画費	1,808	補助金	8,032
土地整備費	2,268	特定事業参加者負担金	9,831
補償費	1,356	保留床処分金	8,410
工事費	19,624		
事務費	1,217		
計	26,273	計	26,273

## 2 事業計画の概要について②

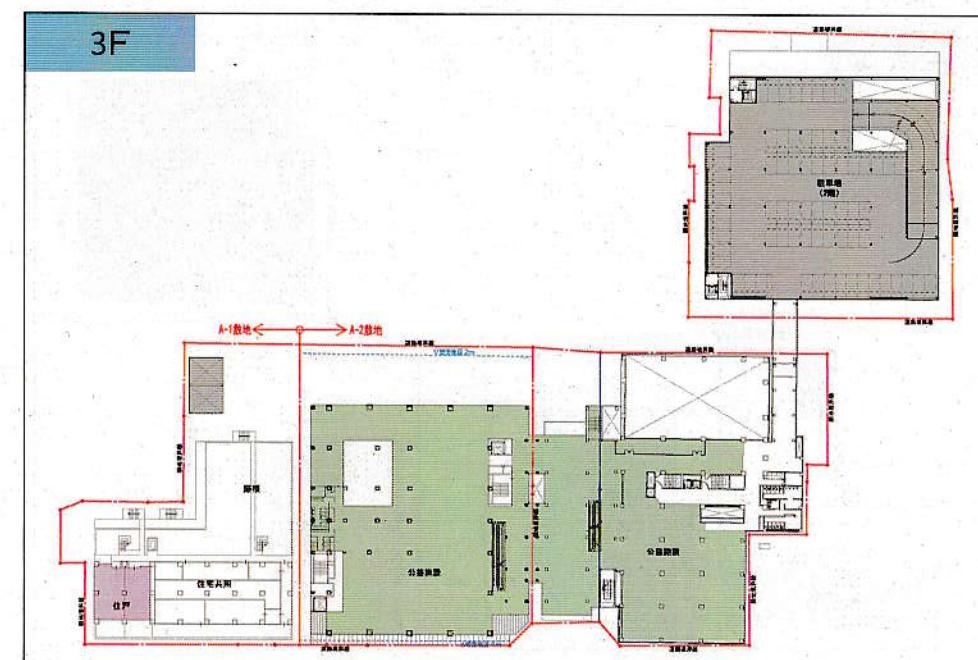
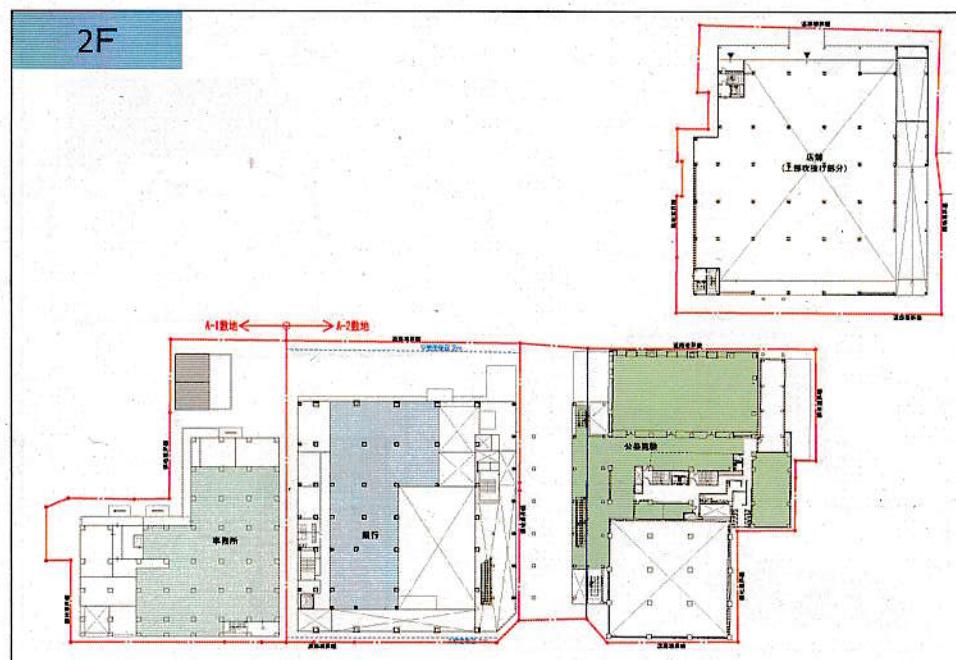
### 施設建築物の設計の概要



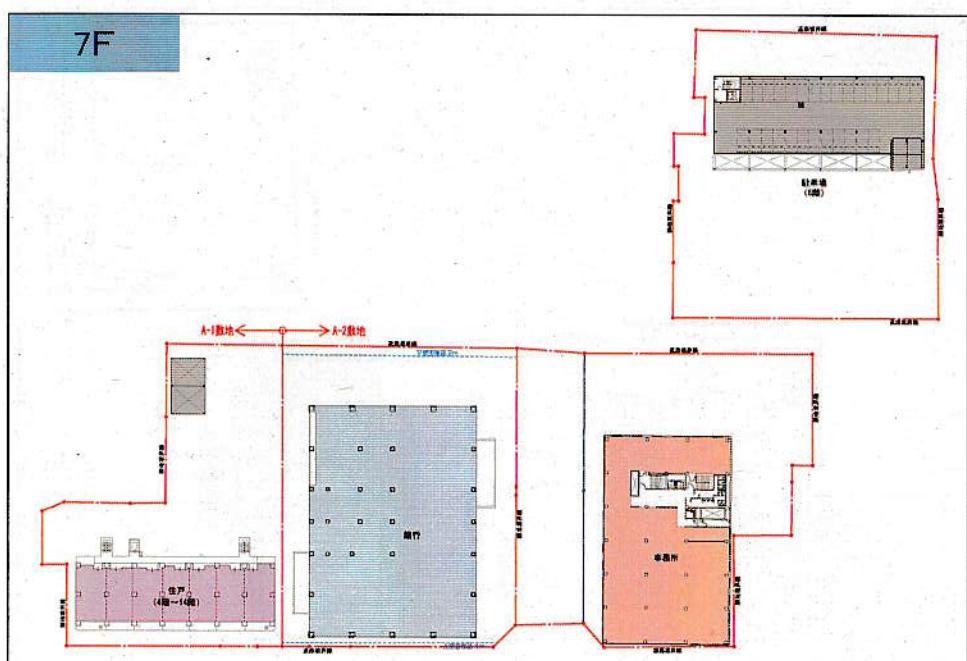
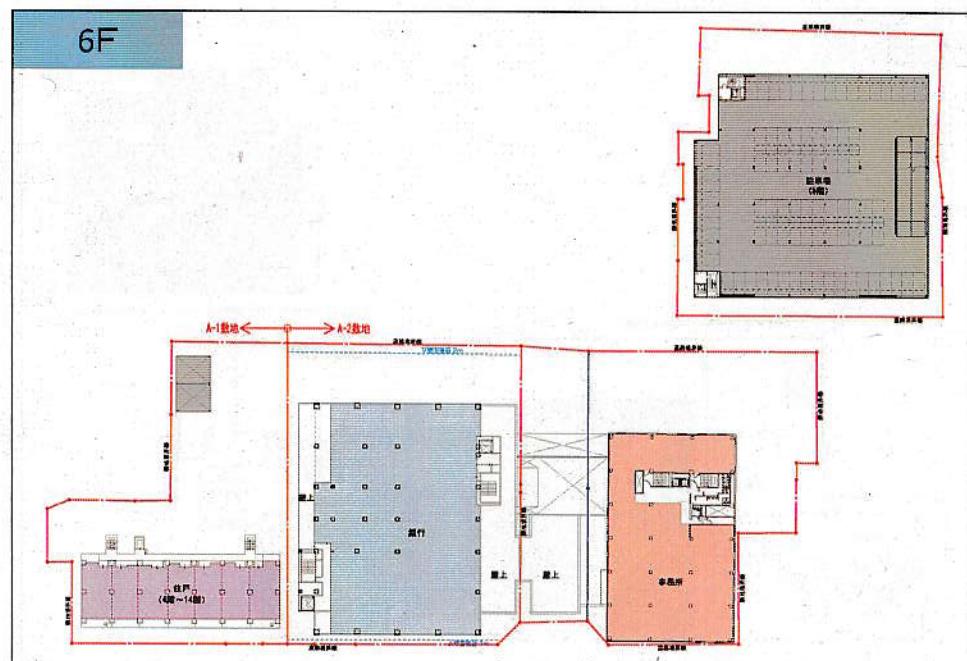
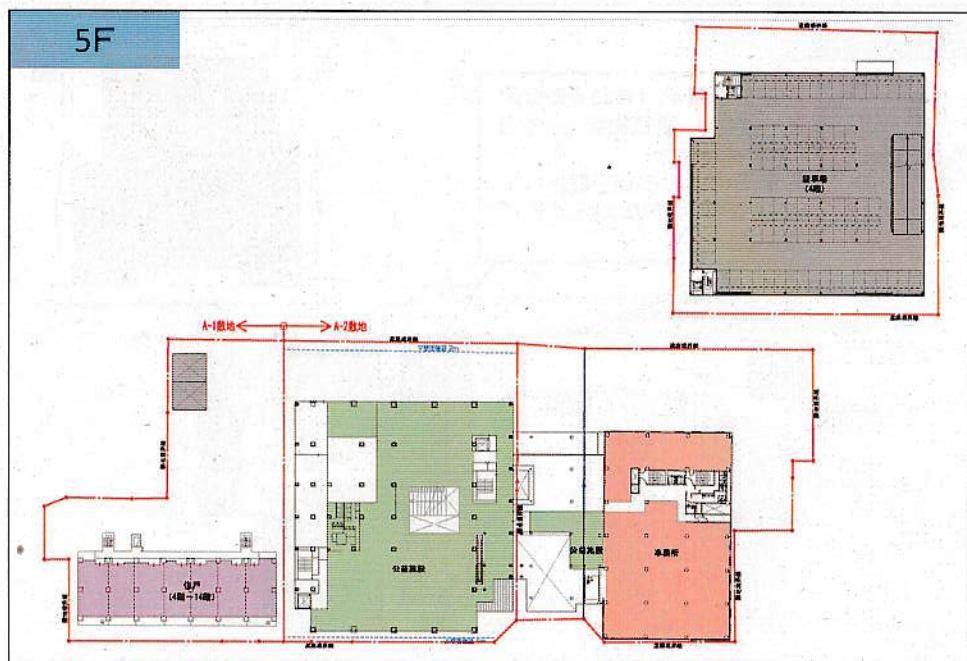
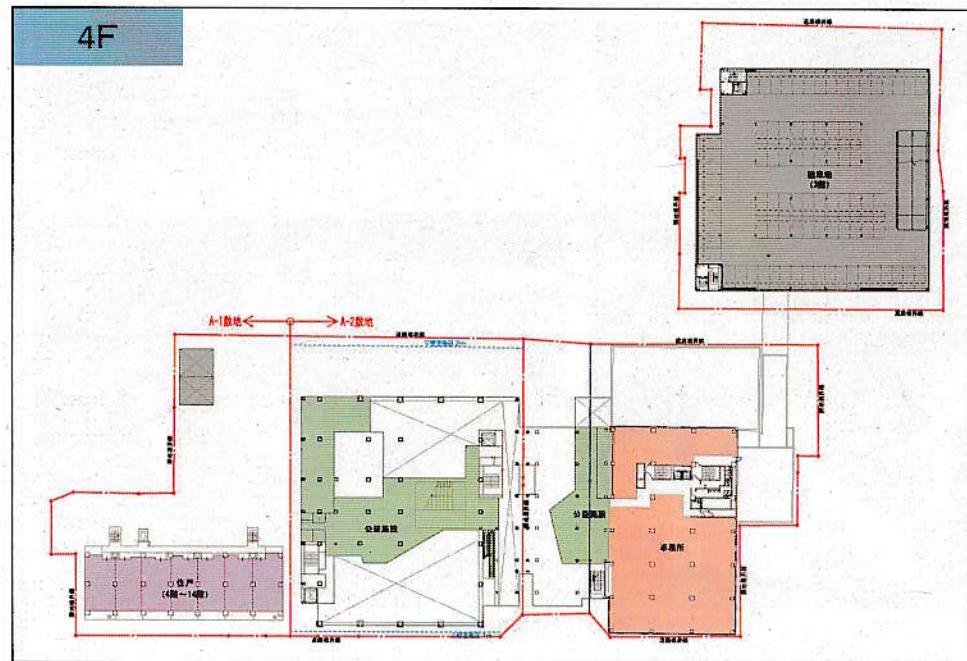
### 3 施設の設計について①



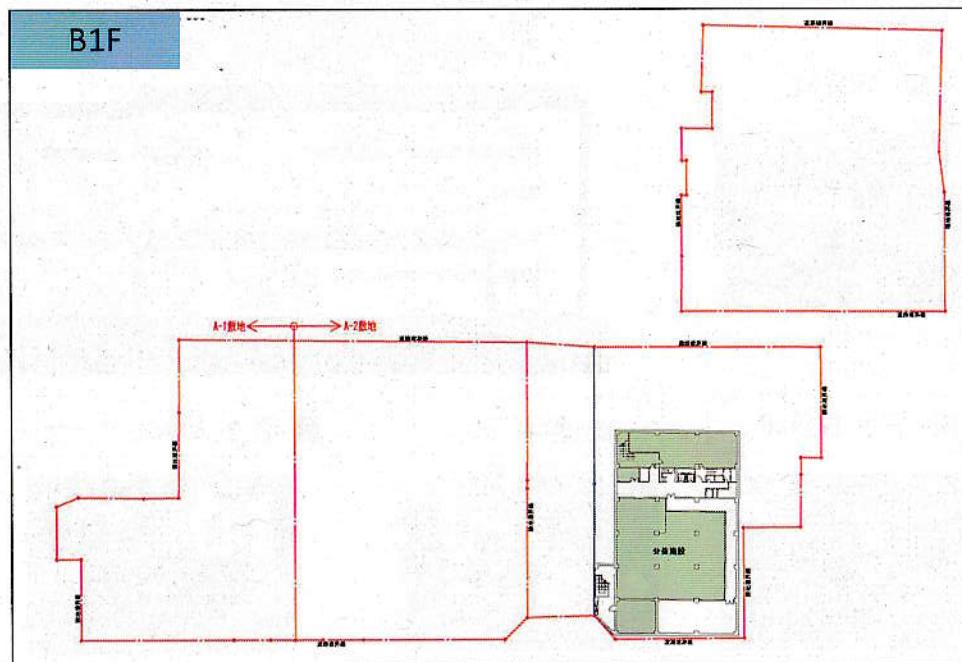
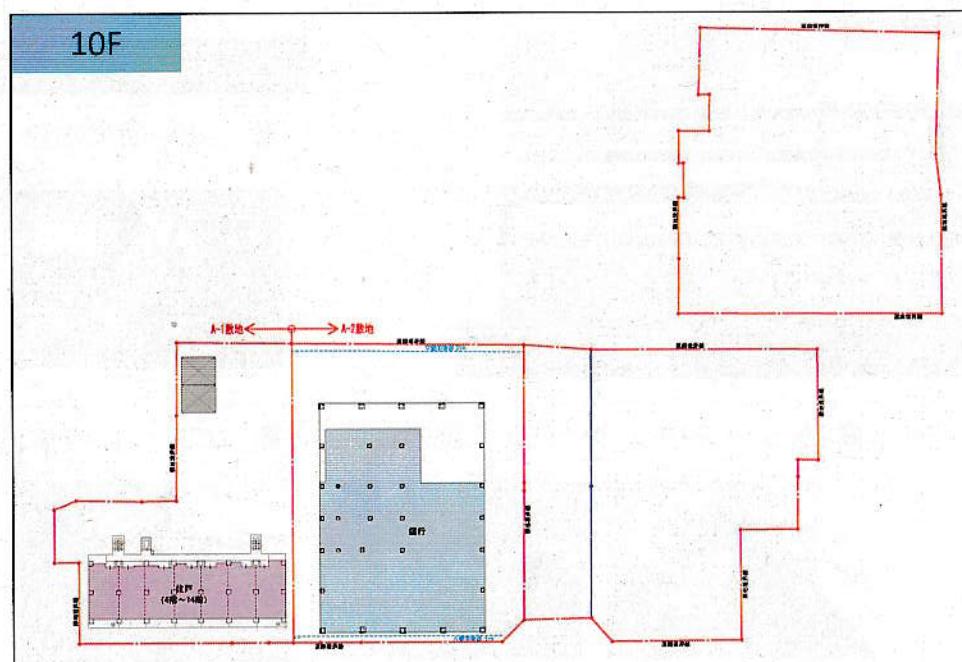
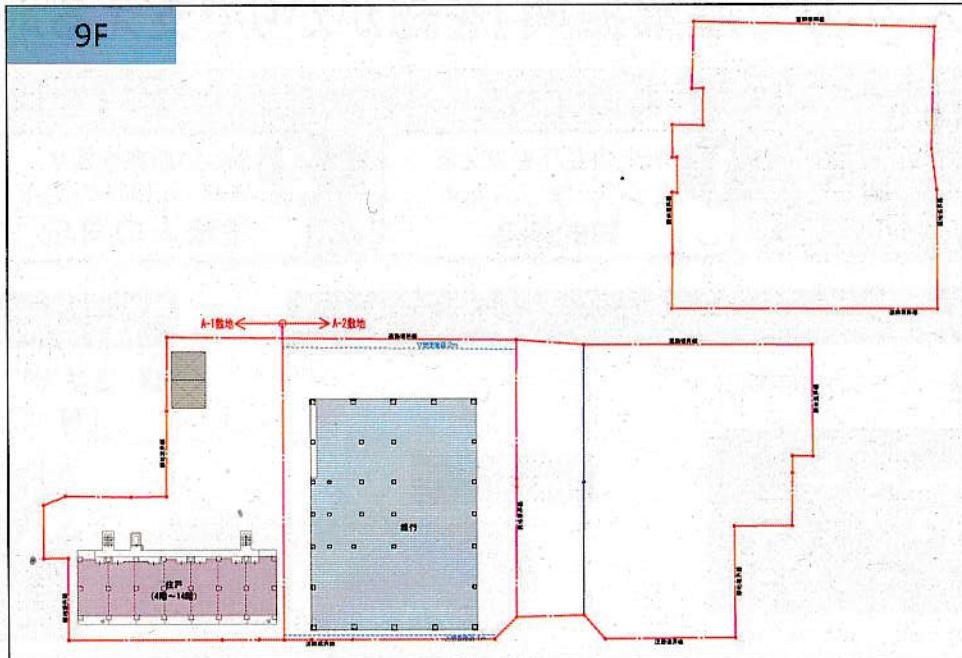
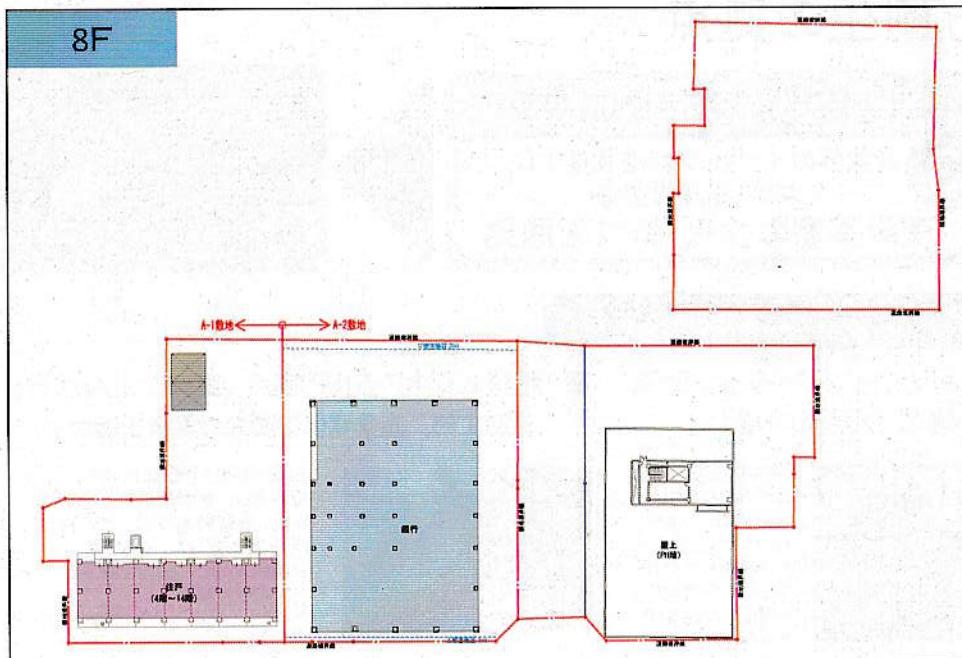
市道401号線部の整備イメージ



### 3 施設の設計について②



### 3 施設の設計について③



## 「人づくりと産業振興」を総がかりで支える地方創生の拠点

未来へつなぐ新しい米百俵 — 長岡の歴史や文化、まちづくりの精神で新たな価値を創造する

3つの視点  
を新たに  
導入

人  
づ  
くり

1 未来の長岡を支える  
人づくり・学びの拠点  
知的創造

産業  
振興

2 新しい産業を興す  
人材・仕掛けの拠点  
産業人の育成

3 産業界のイノベーションを促進する  
3大学1高専の拠点  
産業基盤の強化・新技術開発

創出

まちなかから市全域へ

- ・長岡全域のイノベーション
- ・新たにぎわいと回遊性を高める人の流れ

新しいスタイルの図書館（人づくり・学びの拠点）

■ まちなか図書館



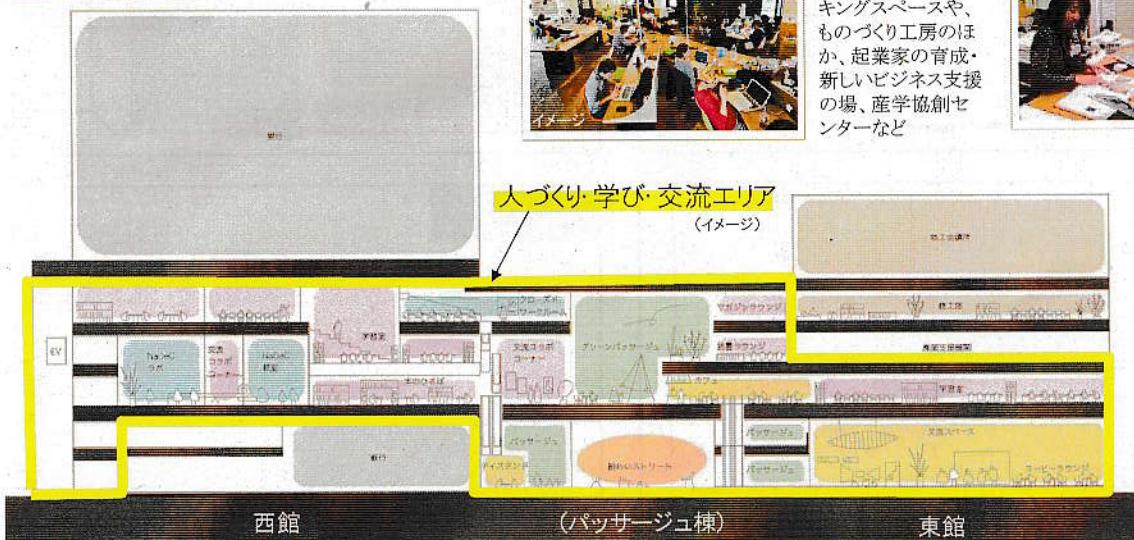
互尊文庫(図書館)を移転。併設のカフェのコーヒーを飲みながら利用可能

■ 学習室



静かな所とにぎやかな所を設置

米百俵棟



■ 子どもラボ



未来を生き抜く力を養う学びの場  
(個性を育む学び・本物の体験)

■ 若者ラボ



中高生のにぎわいを生む居場所、  
個性や未来への可能性を伸ばせる場

■ 歴史人物史コーナー



テーマは「米百俵」「長岡イノベーション史(産業史)」。デジタル技術を活用した思考・体験型の展示

■ グリーンパッサージュ、屋内広場



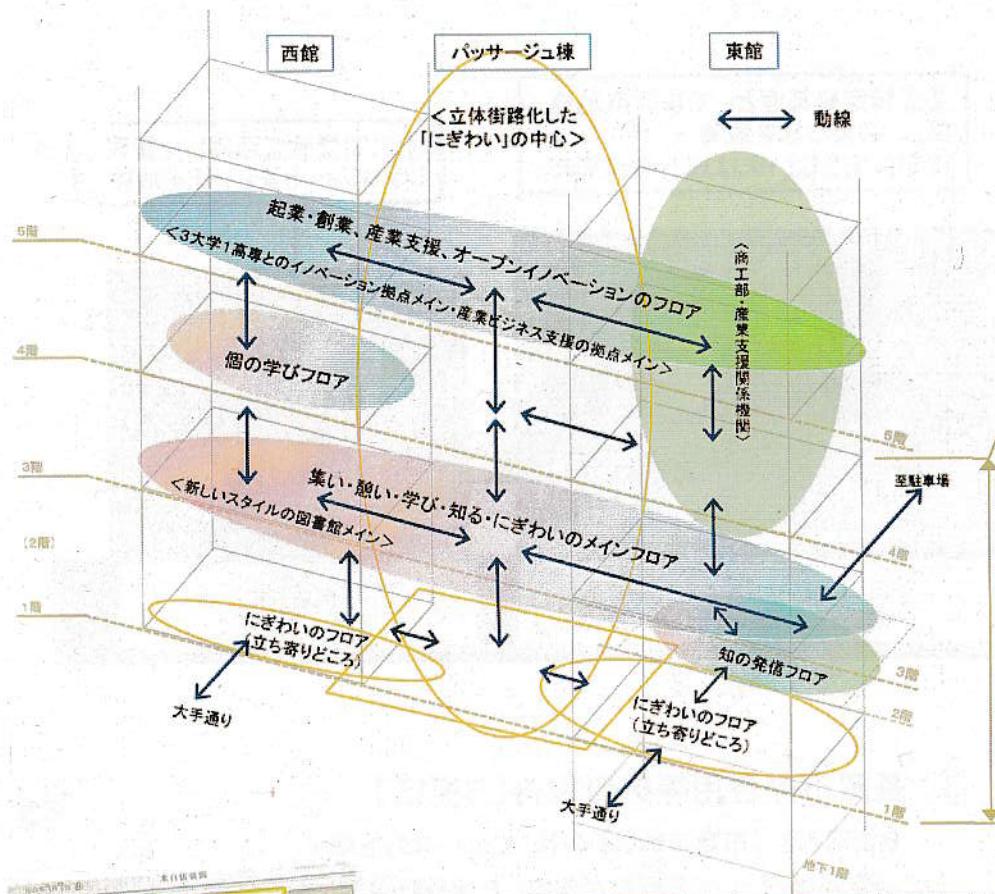
誰もが気軽に集える緑あふれる憩いの交流スペース

■ カフェ・飲食店



## 4 人づくり・学び・交流エリア（再開発事業における市の導入機能）② フロアテーマ・配置イメージ

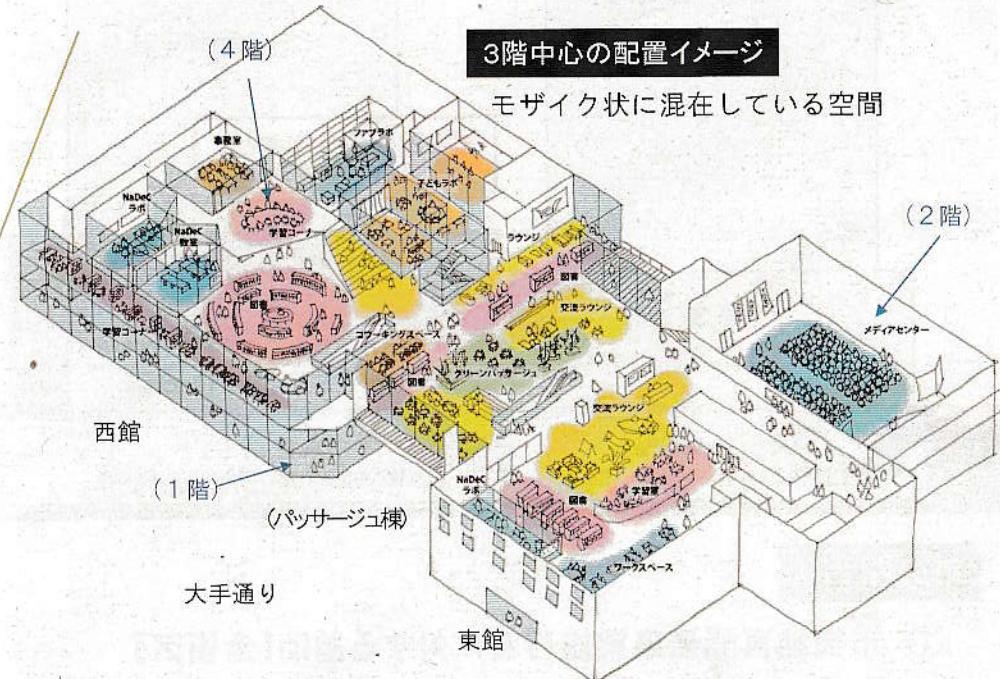
各フロアテーマ（概念図）



配置イメージ

### 空間のあり方・配置の特徴

- 施設内の各機能は、見える空間において本でつながっている。
- 各機能が存在感を持ち、お互いに作用し合い融合している。



### 市民ワークショップを開催 アイデアを取り入れ、基本設計を進めます

- 昨年度、市長を中心とした市内有識者による検討会（計6回）や導入機能に関する実践者・経営者などにヒアリングをしながらまとめた基本方針をもとに、市民からアイデアを募るワークショップを開催（6月～9月、計3回）。参加者は、学生や企業関係者など、10代～70代の幅広い世代から延べ100人。
- アイデアは、今年度まとめる基本計画・基本設計に取りしていく。
- 他にも、若者を対象にしたアンケートや関係者ヒアリングから市民ニーズを把握する。

### 活動イメージ

（主な意見）

- ・子どもが学生や大人と、自然に交流できる
- ・立ち飲み、立ち食い、ビジネストークができる
- ・世代を超えたさまざまな立場の人が会える
- ・雑誌数を日本一に
- ・いつでも面白い人や本に会える
- ・常に学生と企業人が会える
- ・長岡の活動を世界に発信する



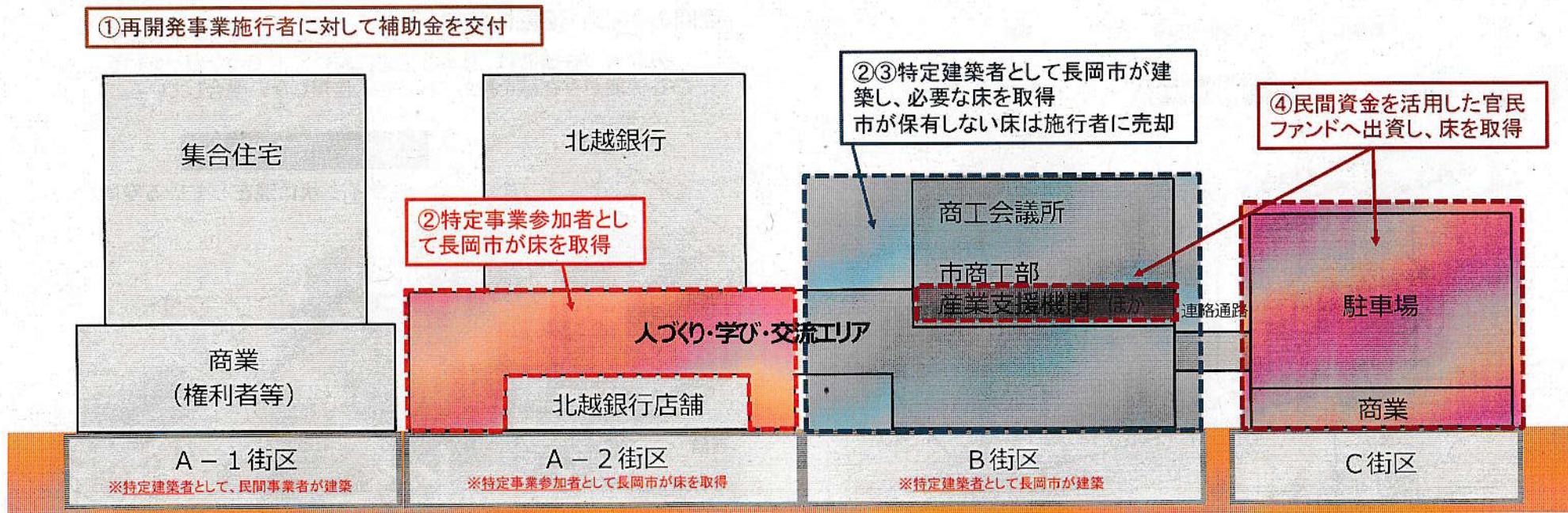
### 空間イメージ

- ・屋内だけ緑いっぱい。自然を感じられる
- ・長岡のシンボル的な存在に
- ・一人で集中する、居合わせた人と交流できるなど、さまざまな使い方に応える家具や空間



## 5 施設整備に係る市の関わりについて

### 施設配置



### 市の関わり

#### ① 市街地再開発事業施行者に対する補助【全街区】

- 長岡市市街地再開発事業補助金交付要綱により再開発事業施行者（UR都市機構）及び特定建築者（市を除く）に補助金を執行するもの。調査設計費、土地整備費、共同施設整備費が補助対象経費となり、その2／3を補助
- 市支出額の1／2を上限として社会資本整備総合交付金（住宅局所管）により充当（単独費の90%は公共事業等債の対象）

#### ② 人づくり・学び・交流エリア整備事業費【A2、B街区】

- A2街区は施行者が整備した床を取得。B街区は特定建築者として長岡市が整備し、必要な床のみを取得
- 市支出額のうち、人づくり・学び・交流エリアの整備に要する費用の1/2を上限として社会資本整備総合交付金（都市局所管）により充当（単独費の90%は公共事業等債の対象）

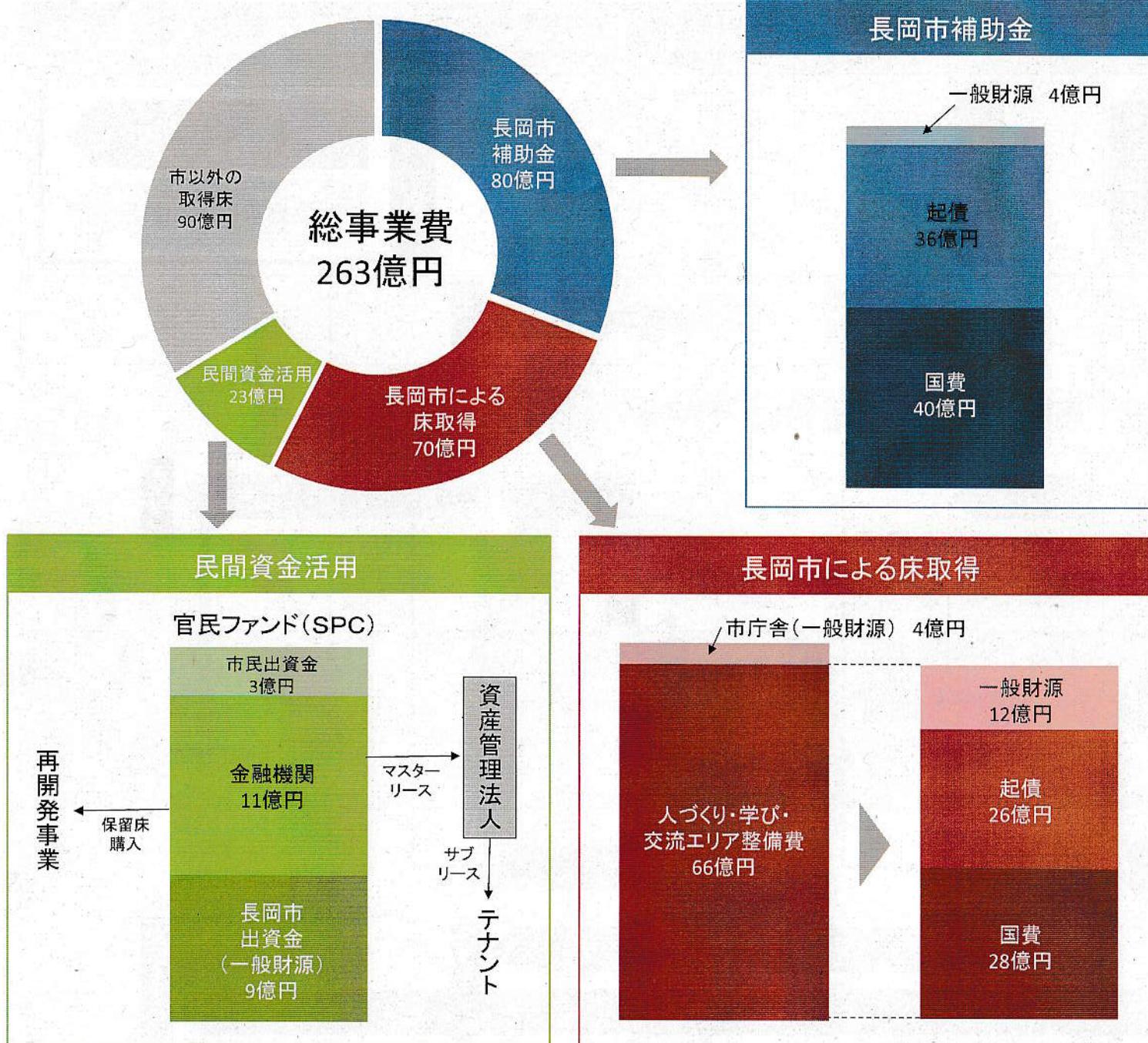
#### ③ 長岡市庁舎用等床の取得【B街区】

- B街区4階に市商工部などの床（A=1,446m<sup>2</sup>）を取得
- 特定建築者として長岡市が整備した床を取得。

#### ④ 民間資金活用による床取得【B、C街区】

- 長岡市の出資法人がSPCを設立し、官民共同ファンドによる調達資金で収益性のある床を取得
- 法人への出資金を支出。

## 6 事業費の財源内訳について



総事業費の財源内訳



## 7 事業スケジュールについて

